

3月 入会記念日 おめでとうございます

3月 7日	藤井圭一郎会員	令和6年	3月 7日	山岸宣雅会員	令和6年
3月12日	北橋茂登志会員	昭和56年	3月13日	久保幸一会員	平成20年
3月22日	早栗義文会員	平成30年	3月25日	遠藤友一郎会員	平成5年
3月30日	上江ひとみ会員	令和5年	3月30日	河井美由紀会員	令和5年
3月30日	前田文恵会員	令和5年			

献血活動

当クラブの献血活動は「人道的奉仕が第一」という理念のもと2004年に開始し、20年以上継続されてきました。血液は人工的に造れず、誰かの善意のみが命を繋ぐ手段です。献血者さんからの「誰かの役に立ててほしい」「初めてだが簡単だった」という声に触れるたび、この活動の意義を深く実感しました。

今回の活動では、総勢受付者 204名、採血者 170名もの貴重な献血が実施されました。内訳としまして、株式会社大五様（受付 148名・採血121名）、合同衛生株式会社様（受付48名・採血 41名）、そしてまいどなんば献血ルーム（受付8名・採血8名）のご協力を賜りました。献血いただいた会員やご家族様はもとより、企業献血にて、素敵で独自の記念品までご用意いただき、ご協力いただきました大地元会長・林元会長のご差配を心より感謝申し上げます。

一人ひとりの「少しの時間」が、誰かの「明日」へとつながる。この善意の連鎖を絶やさぬよう、社会奉仕委員会として、これからも継続的に献血活動に取り組む重要性を感じました。文責：三島敏宏

- 3/11(水)大五ビルでの献血
献血受付：148名 採血者：121名
- 3/14(土)合同衛生株式会社での献血
献血受付：48名 採血者：41名
- 3/9(月)～15(日)まいどなんば献血ルーム
献血受付：8名 採血者：8名



献血へのご協力ありがとうございました。

お知らせ
4月9日(木)
例会は
ありません

これからの予定

- 3月28日(土) 八尾ロータリークラブ創立65周年記念式典及び祝宴
- 4月2日(木) 例会・定例理事会
- 4月4日(土) クラブリーダーシップラーニングセミナー
- 4月9日(木) **休会**
- 4月9日(木) 2026学年度米山オリエンテーション及び懇親会
- 4月10日(金) 大阪難波ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会
- 4月11日(土) IM第4組ロータリーデー・フレッシュロータリアン研修交流会
- 4月16日(木) **休会**
- 4月23日(木) 例会

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報



2025-2026年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッツォ
会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう」
(第2660地区ガバナー 吉川 健之)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
<p>3月26日(木)</p> <p>テーマ 「自己紹介」</p> <p>卓話者 石井かおる会員</p>	<p>4月2日(木)</p> <p>テーマ 「長時間、長距離飛行可能な国産ドローンの重要性」</p> <p>卓話者 株式会社エアロジーラボ 谷 紳一様</p> <p>卓話担当者 宮本倫明会員</p>	<p>言行はこれに照らしてから</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第33回例会 本日のプログラム

- 開 会 (点鐘) 通算第2309回例会
- ・ロータリーソング 「四つのテスト」
 - ・歌 岡本優香さん
 - ・ピアノ 倉田葉名さん
 - 高山理帆さん(交替制)
 - ・来客紹介 友好委員
 - 会 食
 - ・会長報告 立花英司会長
 - ・幹事報告 清水一人幹事
 - ・委員会報告 各委員長
 - ・出席報告 出席委員
 - ・ニコニコ箱報告 SAA
 - ・卓話
- 閉 会 (点鐘)

♪ 四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥130,000
本日までの累計	¥4,052,000 (103%達成)
3月末の予算額	¥3,900,000

出席報告		
前回	3月19日	3週前 2月26日
会 員 総 数	80名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率79.45%
出 席 会 員 数	58名	
出 席 率	76%	

大阪難波ロータリークラブ 例会日時 毎週木曜日 12:30
 創立 1976年8月5日 例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
 会長：立花英司 幹事：清水一人 会報・雑誌委員長：大塚哲平 事務局：安部亜希子
 事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
 TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

3月は「水と衛生月間」です

前回の記録 第32回 3月19日(木)

★来客紹介：池上友好委員

ゲストスピーカー
加藤ヒロユキ様



★会長報告：立花会長

1. 先週は社会奉仕活動での献血週間でしたが私も過去にプラセンタを打っていますので献血出来ないのですが、なかなか風邪薬を飲んでいたり体調が悪かったりで献血したくても出来ない方も多し中、行って頂いた皆様有難うございました。そして今年も会社の方でご協力いただきました大地元会長、林元会長、有難うございました。重ねてお礼申し上げます。
2. 先週は池上会員と石井会員の歓迎会があり50数名の方に出席して頂き有難うございました。改めて池上さん、石井さん入会おめでとう座います。これから宜しくお願いいたします。
3. しかしながらお二人に入会していただいて嬉しいのですが、2024年7月に入会された中田会員が残念ですが広島転勤で退会されます。中田会員に一言お願いしたいと思います。

★幹事報告：清水幹事

1. 4月2日例会終了後、定例理事会を開催させていただきましたので、理事役員の方はご出席ください。
2. IM第4組ロータリーデーとフレッシュロータリアン研修交流会の出が本日締切ですので、よろしく願いいたします。
3. 米山記念奨学会より米山カウンセラーの委嘱状が届いておりますので久保幸一会員へお渡しします。前の方へお越してください。

★委員会報告

◇社会奉仕委員会：三島委員長
献血週間の報告と御礼。



◇出席率向上委員会：河井委員長
2月の出席率75.23% 修正出席率79.73%
50周年に向け80%を再度目指すためご協力をお願いいたします。



◇50周年実行委員会：林委員長
創立50周年記念式典会費の請求書を入れさせていただきました。周年積立金の口座へお振込みをお願いいたします。



★ニコニコ箱報告：松井副SAA

立花英司：新入会員歓迎会、皆様お疲れ様でした。
清水一人：新入会員歓迎会お疲れ様でした。



大地庸元：早退お詫び。

千田忠司：創立50周年記念式典及び祝賀会、近づいてきました。役員の方々大変ですが頑張ってください。楽しみにしています。

伴井敬司：結婚記念日、自祝。50回目です。
松浦孝尚：先週新入会員歓迎会、赤坂友好委員長ありがとうございました。お疲れ様でした。

久保幸一：新入会員歓迎会ありがとうございました。早退お詫び。

中川静夫：新入会員歓迎会、参加された皆様お疲れ様でした。

網干康史：早退お詫び。

網干康史：随分待ちましたがやっと初孫が出てきてくれました。自祝。

森田 納：新入会員歓迎会、赤坂委員長お疲れ様でした。

右田竹郎：皆様、先週の新入会員歓迎会、ありがとうございました。

三島敏宏：献血週間で協力ありがとうございました。大地元会長、林元会長、企業献血にご協力いただきまして感謝いたします。

荒山義雄：霧島がんばれ～！！

川井宗次：先週の新入会員歓迎会、赤坂委員長、友好委員の皆さんお世話になり

ました。

岡野邦男：新入会員歓迎会、お疲れ様でした。

松井 潤：例会連続欠席お詫び。

前田文恵：先日の新入会員歓迎会、お疲れ様でした。

田中浩弥：赤坂友好委員長はじめ先日の新入会員歓迎会、お疲れ様でした。

吉光 淳：新入会員歓迎会、ありがとうございました。

奥村公一：先日歓迎会、ありがとうございました。石井さん、池上さん、これからもよろしく願います。

河 宗啓：欠席申し訳ありませんでした。

★大阪難波RACへのニコニコ箱報告

三島敏宏：献血で協力、ありがとうございました。

累計¥292,000

★卓話

テーマ 「語りと歌の時間」
卓話者 加藤ヒロユキ様
卓話担当者 早栗義文 会員

本日は、私の父が「余命6ヶ月」の絶望的なガン宣告から奇跡的な復活を遂げたお話をさせていただきます。

ある夏の日、父は「原発不明のガン」で全身転移しており、手術不能で余命半年と宣告されました。私がとっさに「絶対に死なないと思う」と励ますと、翌朝、父は「ガンでよかった。不治の病と違い治る可能性がある。ガンと共生するように生きる」と見事な逆転の発想に至ったのです。

父は副作用の強い抗がん剤を拒否し、自己免疫力（NK細胞）を高めて治すと決意します。拠り所としたのは、ノーマン・カズンズの『笑いと治癒力』でした。「1日に1回は絶対に笑おう」と決心し、喜劇映画のビデオを大量に取り寄せ、毎晩大笑いする生活を始

めました。さらに、土いじりや大好きな鉄道を眺め、美味しいワインを飲むなど、人生をとことん楽しみ、自らの免疫力を最大限に引き上げたのです。

その結果、わずか1ヶ月後にはガンマーカーの数値が半減し、お正月を迎える頃にはすっかり正常値に戻るという奇跡を起こしました。余命宣告から半年、父は自らの力でガンを退縮させたのです。父がガンを克服できたのは、絶望して病氣と闘うのをやめ、「心からの笑い」と「生きる喜び」によって、自分の中にある「内なる主治医（自然治癒力）」を最大限に引き出したからです。どんな絶望の淵でも「笑い飛ばす力」を持つことの大切さを、父は身をもって教えてくれました。



久保会員に米山カウンセラー委嘱状が手渡されました。



ストレッチ担当の西村会員

持ち回り理事会議事録 2026.3.19

1. 八尾ロータリークラブ創立65周年記念式典へのお祝いとして4万円を本会計慶弔祝儀から拠出することが承認された。
2. みなみフェスでの備品代（ベニヤ机15台、パイプ椅子5脚）20,625円を青少年奉仕委員会より拠出することが承認された。